

金融経済ナビ まなぼう！金融経済

株式の講座 株式会社と株式

自己診断シート/確認テスト〈解説・指導編〉

【自己診断シート】

言葉としては、生徒たちでも毎日のように見聞きする「株式会社」。まずは、身の回りを見直してみると、その存在の多さや、生活に密接に関わっていることが再認識できます。しかし、あらためて株式とは何かを考えると知らないことがたくさんある、という点に気付かせます。

設問2では、株式を所有した場合のメリットを考えさせることで、コンテンツで「どんなことを学ぶのか」「自分の今の知識はどの程度か」を事前認識させます。

Aの解説：

株式会社という語句を「どんなところで見聞きするか」という糸口を与えることで、身の回りに存在していること、生活に深く関わっていることを意識させます。学校周辺にある会社や、TVコマーシャルを提供している会社などを挙げて考えさせるのも有効でしょう。

Bの解説：

授業の前に株式に対するイメージを聞くことで、授業後にどう変化したかを確認します。

Cの解説：

解答は「株主」。基礎知識として「株式」に次いで押さえておきたい重要語句「株主」を確認します。

Dの解説：

質問の答えは、1602年設立の「オランダ東インド会社」。コンテンツ内でも解説を用意しています。

設問2の解答と解説：

○、○、○、×

株式会社は株主に「配当」として利益の一部を分配します。株主優待は、割引券の配付や優待価格での物品販売など、多くの会社を取り入れています。また、「株主総会」に出席することで、経営に参加することができます。株式は流通市場で売却することができます。また、株主は従業員ではありませんので、給与を得ることはできません。

【確認テスト】

[解答] 1 : B 2 : C 3 : A

[解説]

1 : 株式会社に出資したことを証明するために発行されるのが株式です。現在、市場に公開されている株式は電子化されていますので、手にとって見られる紙製の券（株券）はありません。株式を保有している人を株主と呼びます。

2 : 株式会社の特徴に「株主の有限責任」というものがあります。株主は、出資金は戻ってきませんが、それ以上の責任を負う義務は一切ありません。

3 : 株主は従業員とは異なる存在ですので、給与や福利厚生などを受けることはできません。株主は出資者として、配当を得る権利や、株主総会で自分の持っている株式の数に応じて議決権（会社の経営に参加できる権利）を行使できる権利などを持っています。